

令和3年度第1回市民が主役のまちづくり事業支援委員会会議録

1. 開催日 令和3年6月19日(土)
2. 時間 午後1時15分から午後4時40分
3. 開催場所 君津市役所 6階災害対策室
4. 議題 (1) 令和2年度実施事業の実績報告について  
(2) 変更承認申請事業(かずさっ子の居場所づくり)の審査について  
(3) 令和3年度2次募集申請事業(5団体)の公開プレゼンテーションについて  
(4) 令和3年度2次募集申請事業の採択協議について
5. 公開又は非公開の別  
(1)(3)については、公開。(2)(4)については委員の自由な討論が制限されると認められるため非公開(君津市審議会等の会議の公開に関する規則第4条第1項第2号)。
6. 出席委員 12名  
榎本 光男 重田 和士 磯貝 弘一 大野 睦  
齊藤 はる代 佐藤 ますみ 白駒 等 鈴木 富雄  
永井 直樹 新田 力男 伯ヶ部 喜久男 藤川 英生
7. 出席職員 6名  
市民環境部長 茂田 達也  
市民活動支援課長 丸 博幸  
市民活動支援係長 竹森 幸恵  
交通防犯係総括交通指導員 高野 貴子  
市民活動支援係主任主事 木原 沙都美  
市民活動支援係主事 近藤 佑樹
8. 傍聴者 なし

---

## 開会(午後 1 時 15 分)

事務局 本日はご多用のところ、ご出席を頂き、誠にありがとうございます。本日司会を勤めさせていただきます、市民活動支援課長の丸と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、新年度を迎えます、初めての委員会ですので、初めに事務局職員の紹介を行います。

市民環境部長の茂田より紹介をさせていただきます。

茂田部長 ー 職員紹介 ー

事務局 次に、開会にあたりまして、榎本委員長からご挨拶をいただきたいと思ひます。

榎本委員長 ー 委員長挨拶 ー

事務局 ありがとうございます。

それでは、委員会設置要綱第 5 条第 1 項により、榎本委員長に進行をお願いいたします。

榎本委員長 議事に入る前に、新たな委員のご紹介をさせていただきます。

高橋委員の君津市自治会連絡協議会会員の任期満了に伴い同協議会から推薦をいただきました 白駒 等委員でございます。白駒委員、自己紹介をお願いいたします。

白駒委員 ー 委員挨拶 ー

榎本委員長 ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

本日の出席委員は 12 名でございます。よって、定足数に達しておりますので、これより令和 3 年度第 1 回市民が主役のまちづくり事業支援委員会を開会します。

本委員会は、君津市審議会等の会議の公開に関する規則に基づき公開されておりますが、本日の傍聴はありません。

また、本委員会の会議録は、後日、市のホームページで公開されますので、ご了承願ひます。

---

## 議題 1 「令和 2 年度実施事業の実績報告について」

榎本委員長 これより議事に入ります。

議題 1 「令和 2 年度実施事業の実績報告について」事務局からの説明

を求めます。

事務局

それでは、令和2年度実施事業の実績について、説明いたします。

令和2年度は、14事業が採択されており、全体の決算事業額は287万8,764円、補助金額が229万7,998円となっております。

内訳につきましては、一覧表のとおりとなります。その後ろには対応する事業番号順に実施報告書を綴じておりますのでご確認ください。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、活動が制限された団体が多くございました。その中でも、予算額に対し決算額が大きく変動した事業については、事務局において、「3 事業説明」として、まとめて記載をさせていただいておりますので、ご確認ください。

その他各事業の詳細につきましては、それぞれの実施報告書をご覧ください。

以上で、説明を終わります。

榎本委員長

事務局の説明が終わりました。

ご質問などがありましたらお願いいたします。

(発言するものなし)

---

## 議題2「変更承認申請事業（かずさっ子の居場所づくり）の審査について」（非公開）

---

## 議題3「令和3年度2次募集申請事業（5団体）の公開プレゼンテーションについて」

榎本委員長

次に議題3「令和3年度2次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて」議題4「令和3年度2次募集申請事業の採択協議について」事務局からの説明を求めます。

事務局

それでは、「議題3 令和3年度2次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて」「議題4 令和3年度2次募集申請事業の採択協議について」ご説明をさせていただきます。

まず、本日のスケジュールからご説明いたします。

本日のプレゼンテーションは5件です。13時45分からプレゼンテーションを開始し、終了時刻は16時40分を予定しております。協議の進み具合により、多少時間を前後する可能性がございますので、予めご了承をお願いいたします。なお、団体の諸事情により、事業番号9「みんなでつくる音楽会」と事業番号11「福祉のまちづくりを推進するプロジェクト」のプレゼンテーションの順番を入れ替えて行いますの

で、ご承知おきください。

次に審査方法についてご説明いたします。

審査は、応募書類と団体によるプレゼンテーションをもとに行います。発表時間は1団体につき5分、質問時間10分の計15分といたします。審査にあたっては、事前審査表に記載されている項目を主なポイントとして評価していただきますので、プレゼンテーションを受ける際には、審査項目に留意しながら聞いていただければと思います。なお、この事前審査表には、事務局の予備審査による点数等が記載されております。こちらは、要件審査欄の○×を含めて、事務局採点の平均値であります。点数については、小数点以下の端数は、小数点以下第二位を四捨五入し、小数点以下第一位までの数値を記載してございます。また、事前審査の点数は、あくまで仮のもので、たたき台としてお示しするものであります。各団体側には点数を伝えておりませんので、その点、ご留意いただければと思います。また、前回の委員会より個別に採点していただく審査方法となっております。委員の皆さまには、各団体のプレゼンテーションが終わりましたら、事務局の事前評価とプレゼンテーションの審査をもとに審査表の1次評価の欄に点数を記入していただきます。項目により、10点配点と5点配点のものがございます。10点配点は10を最高評価とし、10、8、6、4、2の5段階での評価、5点配点のものは5を最高評価とし、5、4、3、2、1の5段階での評価をお願いします。なお、1次評価を記入していただいた審査票は、集計作業の都合がございますので、記入後、一旦、事務局でお預かりをさせていただきますので、ご了承願います。

また、前回は、先に全ての団体のプレゼンテーションを行ってから、採択協議を行っていただいておりますが、今回は、おおむね2団体のプレゼンテーションが終わったところで一旦区切りまして、採択協議に入りたいと思います。採択協議においては、委員皆さまの採点を取りまとめた集計表をもとに、評価できる点や不十分な点、採択にあたって条件を付けるべき点などについて協議していただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

すべての協議が終了しましたら、最終評価をしていただき、取りまとめた結果について委員長からご報告をいただきます。

最後に、採択基準ですが、出席委員の過半数が基準点以上を付けた事業を採択といたします。委員個々の点数で採択・不採択を判断し多数決によって決定いただきます。最終的な採否については、本日の審査会の結果をもとに、市長が決定いたします。

以上で、説明を終わります。

榎本委員長 事務局の説明についてご質問などがありましたらお願いいたします。  
(発言するものなし)  
それでは、発表団体の準備が整い次第、プレゼンテーション審査を開始いたします

---

## 事業番号 8

事業名 宮下川環境美化推進事業

団体名 宮下緑地をきれいにする会

プレゼンテーション

榎本委員長 事業番号8番、  
事業名「宮下川環境美化推進事業」のプレゼンテーションを開始いたします。

発表時間は5分、質疑応答が10分となります。

団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

団体 — 配布資料にて説明 —

---

## 質疑応答

榎本委員長 ありがとうございます。それでは質疑に入りたいと思います。委員の皆様から質問等ありましたら、お願いします。

小学校6年生って書いてありましたけども、大体どの位の人数ですか。

団体1 80人位です。

とにかく、1回も見たことない方は1回見ていただきたい。足元を照らしてくれますから、黄色で。ぜひお願いしたいなと思います。

榎本委員長 これだけの長さを植えるの大変かと思います。

新田委員 この活動については、今23年目を迎えているということでございますが、君津市のというか、もう社会的なニーズになっておりますSDGsをもう実現をされてるんじゃないかなということを思っております。

加えて、立派な活動でして、子供達と明日を繋ぐ、子供達も一緒になって活動してるということが何よりも素晴らしいことなんだなというふうに思っております。

今、片側1kmの両側で2kmということで、そのエリアを対象としているようなんですが、可能であればもう少し延長していただければ、さらに素晴らしい活動になるんじゃないかなというふうに思うところでございます。今後ともよろしくお願いを申し上げます。

榎本委員長 ありがとうございます。他にご意見はございますか。

- 藤川委員 現地視察をさせていただいて、小学生と一緒に植樹をされたのを見ました。その時、どなたか「宮下川で水力発電をやったらどうか」というようなお話をね、お二人のどちらかが言われたと思うんですね。中々いいアイデアだと思うんですけど、あの川でね、実際にできるのかという感じがしたんですけど、そこの検討はされていますか。
- 団体1 どんどん落ちているところもありますけど、あれだけ水量があれば、充分中学校の対応ぐらいできると思うんです。ただ、市ではないので県ですから、そこら辺の相談が難しいじゃないかと。
- 藤川委員 県が管理してるんですか。
- 団体1 県です。一級河川ですので。それがオッケーであれば、あそこに水力発電作ってもいいんじゃないかなと。ちょうどあの落ちてるところが一番いいんですよ。
- 藤川委員 今、新田委員言った、SDGsとの関連がありますしね、非常にユニークな考えだと思うんで、これとは直接あれじゃないと思いますけど、ぜひ実現されるように祈っております。
- 榎本委員長 水力発電できたら脱炭素ということで素晴らしい先駆けになるんじゃないかと思いますけど。
- 団体1 また商工会の方にご協力いただきます。先に進むんじゃないかと。
- 榎本委員長 他にございますか。
- 白駒委員 私、清和地区でボランティアでこういうのやっているんですが、高齢化になってきて、1人抜け2人抜けという、そんな感じなんですよね。今、実際お話しして年齢層がどんな風になってるか、聞きたいなと思います。
- 団体2 平均年齢でいきますと、大体72,3歳で、1番上の人が80ちょっとになります。
- 白駒委員 どうしても段々しぼんできちゃうという感じなんですけれども、自分たちも考えているのが、若い人達をどうやって巻き込んでいったらいいかというのが、自分たちの課題なんですけれども、その辺の考えをいただけるとありがたいです。
- 団体2 今一番若い人で61歳かな。ただ1人か2人しかいません。あとはほとんどが70歳以上です。
- 榎本委員長 他に質問なければ終了したいと思いますですが、よろしいですか。
- 以上で、プレゼンテーションは終了となります。
- お疲れ様でした。
- (団体退場)

---

事業番号 11

事業名 福祉のまちづくりを推進するプロジェクト

団体名 プロジェクトK

プレゼンテーション

榎本委員長 それでは時間となりましたので、事業番号11番「福祉のまちづくりを推進するプロジェクト」のプレゼンテーションを始めます。発表時間は5分、質疑応答が10分となります。

団体名および発表者の紹介をしてから事業の説明をお願いします。それでは、よろしくお願いします。

団体 — 配布資料にて説明 —

---

### 質疑応答

榎本委員長 ありがとうございます。それでは、質疑に入りたいと思います。委員の皆さまから質問等ございますか。

新田委員 団体の最大の目標っていうのはいわゆるSNSを使って、そして誰に何を広報するのかというところが理解できなかったんですが、その辺ちよつと聞かせてもらえますか。

団体 目標としてはですね、同じ境遇の方に見ていただいて、これに励まされて自分もこんなことが出来るんだとか思っていただければなど。

ボウリングとか障がいを持っている方でもスポーツをやっている方もいるんですけど、逆に3分の2の方がもう本当に引きこもりになって、そういう人達を表に出させるっていうか、こういった楽しいことも出来るんだよといったところの、こういったビデオの中で見ていただいて、自分も少しでもスポーツをやったりとか、料理作ったりとか、そういったことが出来るようになればなというのが目標です。

あと、私がボランティア活動を始めた頃は若い方がいっぱいいたんですけど、今、私62歳なんですけれども、まだ一番若い方なんですよね。だから、若い方にもう少しボランティア活動に興味を持っていただいて、みんな難しいと思って中々出てこないんですけども、本当にエレベーターのボタン押すだけでもボランティアになるんですね。車イスの方だったら、中々ボタン押せなかったりとか、目が不自由な方だったりとかするので、そういったところお手伝いできれば、ボランティア活動になるんだよということを、DVDを見てもらってそういったところを勉強していただけたらなというのが目標になります。

藤川委員 2点質問したいんですけど、プロジェクトKのKはどういうことから

来てるかということと、障がい者は君津市内でどの位、どういった人達がいるのかという点についてお話いただきたいんですが。

団体 障がい者の人数、現在は把握してないんですけども、いろんな目の不自由な方、それから足の不自由な方、それから元々小児麻痺でなった方、交通事故でなった方、いろんな方々いらっしゃるんですけど、特に引きこもりに陥るのが、途中で車イスになった方とか目が見えなくなった方、そういった方が自分で自滅してしまって出てこれないという方がいるんですね。逆に怪我したからってスポーツ大会とか出てるじゃないですか、パラリンピックとか、そういった方々が活躍してるんですけど、閉じこもってるんでテレビも見ないとか、そういったところもあるので少しでもこういったところ、興味を持っていただいて表に出ていただければいいなど。

あと、プロジェクトKのKは、君津のKからとってます。

榎本委員長 ほかにございませんか。

(発言するものなし)

榎本委員長 以上で、プレゼンテーションは終了となります。

お疲れ様でした。

---

## 事業番号 10

事業名 きみつ里山のにぎわいと生業創出事業4

団体名 きみつ里山活動ネットワーク

プレゼンテーション

榎本委員長 それでは時間となりましたので、事業番号10番「きみつ里山のにぎわいと生業創出事業4」のプレゼンテーションを始めます。発表時間は5分、質疑応答が10分となります。

団体名および発表者の紹介をしてから事業の説明をお願いします。それでは、よろしくをお願いします。

団体 — 配布資料にて説明 —

---

## 質疑応答

榎本委員長 ありがとうございます。それでは団体によるプレゼンテーションが終わりましたので、皆さんからご質問を受けたいと思います。

永井委員 里山とはどういうものか、里山活動とはどういうものか、そのもの自体を理解していないので、説明いただけますか。

団体 あくまで私どもの理解になりますけれども、里山と呼べるのはそこで



人が生活できるというものがまず1つ。もう1つが、山とついていますが、  
れども、例えば、田畑あるいは果樹園ですとか、あと水ですね、そういった生活に欠かせないものが存在する自然環境というふうに私どもは捉えて  
ております。

里山活動と言っているものは農業も含まれますけれども、君津で言う  
と、竹林が繁茂してしまって筍ですとか、そういったものを取りづらくな  
っている環境ですとか、竹林が多くなってしまったが故に、元々の広葉樹  
ですとかそういったものが無くなってきてしまって、水質が悪くなってい  
く。あるいはイノシシ・シカ等ですね、そういったものが畑を脅かしてい  
くというところで、それに対して防御する、あるいは作物を増やしてい  
くといったような、身近なところではあるんですけども、そういった活動  
を里山活動と捉えて行っております。

永井委員  
団体

私有地でやるってことなんですか。

基本的には今のところ、私有地に限られてしまっておりまして、中  
にはお寺さんの土地ですとか、依頼されてやってる方もいるんですけど  
も、多くは私有地の中でやってるので、それが逆に情報が狭くなってしま  
っている要因にもなっております。

藤川委員

横に逸れるかと思うんですけども、先日、君津ウルトラマラソンが  
ございましたね。私もボランティアで参加したんですけども、非常に好  
評だったんですよ。市外から沢山来ておられまして、対応が非常によか  
ったと。Y o u t u b eなどもかなり喜んだ声、来年もやってくれとい  
うような話も出たんですけども、団体の活動とずれるかもしれませんが、  
例えば団体でここに入ったらどうかな。そういう動きとの関連、この辺は  
どういうふうにお考えですか。

団体

マラソンの情報が私の方には入ってこなかったんですが、今団体の中  
に名を連ねている皆さんが、基本的に地域の中でも広く色んなことに関わ  
られていて、それが私共の団体と直接関わっていくものと、なっていない  
ものが正直ございまして、ただ里山活動ってとこ、例えば土をいじるとか  
木を切るとか、そういうことに限定されることなく、色んな形で情報持ち  
寄って、要するに君津そのものを里山と捉えれば、ここで活動するものは  
全て里山活動になるでしょうというような形で地域がよくなることを前  
提に考えておりますので、今後細かい情報もそれぞれからいただきなが  
ら、どのように携われるか考えていけばいいかなと考えております。

新田委員

各団体がそれぞれの活動をしているという中で事務局とすれば、例え  
ば優先順位を決めて、これがあって君津の里山だというような特色ある、

そういったまちづくりを進めていくために、優先順位をつけて実施をする。そのためには、行政と連携を取りながらやっていく必要があるというふうに思うんですけども、その辺の作業というのは行われているのか、あるいは今後する予定はあるのか聞きたいです。

団体

大変ありがたいお言葉でしたけれども、ぜひ市役所さんとは色々な形でやらせていただければなというふうに考えております。実際問題どのようにっていう具体的なところは今のところないんですけども、市内で暮らすということを考えれば、必ず市民になると思いますので、当然ながら行政機関さんと連携した形でやっていくのがいいのかなというふうに考えておりますので、今後ともプッシュをしながらやっていければなというふうに考えております。

議員委員

新田委員が言ったことと関わってくるかもわかりませんが、この事業が平成29年度から行われて、ご存じかと思いますが、5年目になりますよね。今までやってきた、実際自分たちがやってきた、講演会とか色々とされてきてるようですが、評価どうお考えなんですかね。

それと次に向かってどのようなステージになるかわかりませんが、同じようなことを続けていくのか、それとも評価の中でこういった課題が出てくるので次はこういうことをやっていきたいというお考えがありましたら、教えていただきたいと思います。

団体

今年5年目になりまして、これを生業創出事業ということで、仕事になると、仕事にするということで、始めた当初はですね、今やっている活動自体がどのように仕事になっていくかということで模索してきました。その中で農作物ですね、君津の新たな農作物になりうるのではないかとという産物を試験的に栽培して、今もそれは続いているんですけども、それに関しては少しずつ成果を上げてこられてるかとは思いますが。

次なるステップということで、今まで内向きというんですか、内向的な部分が強かったんですけども、今ある里山の資源ですとか、活動自体を外部の人達がどのように興味を持ってきて、それをどのように仕事に繋げていけるか。あるいは一例になってしまうんですが、自分自身が関わってる形なんですけど、台風で倒れたままの木。これをどのように使うかと。その時に、とある企業がその木を使ってこういったものを作りたいと。それは君津市内の企業でも君津市以外の企業でも構わないんですけども、それをブランディングして販売をします。その時に「君津市産のなんとか」というような形になるように、今やってる活動を外部の人に着目していただいて、それを広義に広げていくといったような形にステップアップさせていきたいなというふうに考えております。

榎本委員長 今年の活動とすれば何月頃に、1番最初にやる活動は何をしようと思  
っていますか。

団体 もう7月になってしまいますので、具体的に今お話できる部分も半分  
くらいになってしまうんですけども、9月頃ですかね、夏は最近暑くて  
屋外活動も危ないので、秋口くらいから、君津の環境を知っていただくよ  
うな体験会といったものを10～15人位程度のもので進めていきたい  
なと考えております。

あとは冬になってしまうんですけども、例年やっております、草刈  
り機とチェーンソーの取り扱い講習会を開催したいと考えてます。

来年入りまして、これも例年やってるものなんですが、先ほど申し上げ  
たように、少し対外的な、外に向けた形で、今君津の里山はこういうふう  
になっているとか、あるいは活動団体がこういうふうにありますので、何  
かしら仕事ですとか、そういった社会活動に繋げていけないかというよう  
な発表会を予定しております。

榎本委員長 それは、ホームページ等で人を集めるということでもいいんですか。

団体 ホームページとチラシを作成して募集をかけたいと考えております。

榎本委員長 時間になりましたので、以上で、プレゼンテーションは終了となりま  
す。

お疲れ様でした。

(団体退場)

---

## 事業番号 9

事業名 みんなでつくる音楽会

団体名 房総楽友協会

プレゼンテーション

榎本委員長 それでは時間となりましたので、事業番号9番「みんなでつくる音楽  
会」のプレゼンテーションを始めます。発表時間は5分、質疑応答が10  
分となります。

団体名および発表者の紹介をしてから事業の説明をお願いします。そ  
れでは、よろしくをお願いします。

団体 — 配布資料にて説明 —

---

## 質疑応答

榎本委員長 ありがとうございます。それでは委員からのご意見ご質問をお伺い  
します。いかがでしょうか。

- 齊藤委員 昨年、小櫃公民館で聞かせていただきました。年に1回だけになるとのことですが、実際の演奏者は何人でやられるのですか。
- 団体 小櫃の場合は、今回は2名です。やっぱりコロナの時でもあるので、あまり大勢で舞台上に出るといふのもちょっとどうかなと思ったところもありまして、今回は2名の演奏者が参加します。本当は地元の方との交流とかも舞台上でしたかったんですけども、ちょっとコロナがあまりに先が見えないので、安全でできそうなところを検討して決めたというところですよ。
- 齊藤委員 演奏会は年に1回ですか。
- 団体 実は今年は、公民館を回るという演奏会を4回するんです。11月2回、12月2回とするんですけども、その中でこの中の事業としてやるものは、上総地域交流センターでのコンサートを補助いただけたらなということ。本当はもっとしたいんです。けれども、コロナのこともあって、あまりに不透明なのである程度、確実性のあるところで今年はやりたいということ。あとの3回は公民館との共同ということで、演奏会をしてほしいという希望が多かったのでやります。その1つを今回、事業として提案いたします。
- 新田委員 事業を運営するにあたって、1番ご苦労されていること。具体的にどういったところでご苦労されているかということがまず1点。それから、市役所の1階にかずさFMがオープンして、週1回放送するようになったわけですが、そこと連携を取りながら、活動の中に入れていくとか、アイディアがあればまた素晴らしい活動になるんじゃないかなと。コロナ禍の中で人の気持ちはすさんでるし、明るい話もほとんどないし、やっぱり音楽というものは必要だと思うんですよ。音楽の良さをもっと知らしめる手段として、新規事業として考えていただければ、さらにいいものになるんじゃないかなという気がしてならないんですけども。
- 団体 まず最初の苦労している点ですけども、それ言われたら1番に思うのが、いかに市民の皆様にクラシックの楽しさを届けられるかなというの、もしかしたら1番苦労というか、気にかけていることかもしれません。というのは、例えばこれが演歌のコンサートをしますとかだと、割とすぐ人が集まるんですね。でも皆様クラシックっていうと、それだけでも敷居が高くて「クラシックは結構結構」とかいう感じになってしまうのが、そういうふうな固定観念で「クラシックはなんか堅いから」というふうな思われているのが、なんかすごく普段の活動で感じるの、それを何とかしてクラシックをそんな堅苦しいものじゃなくて、気楽に聞けるんですよっていうことを、皆さんに届けられたらなと思うのは、

2008年から始めてる房総楽友協会の活動の大きな原点だと自分では思っています。

ですから、なんとか地方の方にも行ったり、色んなところでクラシック音楽の楽しさをもっと皆さんにわかっていただけたらなと思って活動してるんですけども、今のところ実感としたら、クラシック音楽の楽しさは、まだまだ普及していないというのが残念ながら今の気持ちです。

それと、かずさFMで月2回、1階でやって今のところ、まあまあうまくいってるのかなと自分でも思ってるんですけども、私はもちろん音楽のところ10分しかお手伝い出来ないんですけども、私も新田委員が今おっしゃったように、あれを始めたのを今のところは、あの時間の10分の中にプロの人に出てもらおうつもりは、あんまりないですね。ですから、アマチュアの人で音楽愛好家はすごい沢山いらっしゃいます、サークルもいっぱいあるので、今はそういう方たちにお声かけてとか、個人でも歌の好きな方、楽器の好きな方に出させていただいてるんですけど、新田委員のおっしゃったように本当にそういう方向に結びついていけたらなとすごくそれは思っています。今言われて、かずさFMからあのお話が来た時には、もうかなり決まっていたので、そこまで頭回らなかったんですけど、今おっしゃったのお聞きして、それも1つ入れたらよかったなと今すごく思いました。

ですから、ああいうのも利用してプロが高いほう、上の方を見て演奏するだけではなく、プロの人と一般の人が一緒にコンサート出来たらなというのは、ぜひ次回には入れたいと思います。ありがとうございます。

榎本委員長

ほかにございませんか。

(発言するものなし)

以上で、プレゼンテーションは終了となります。

お疲れ様でした。

(団体退場)

---

事業番号 12

事業名 SCP (清和コミュニティパーク) 創造プロジェクト

団体名 SCP創り隊

プレゼンテーション

榎本委員長

それでは時間となりましたので、事業番号12番「SCP (清和コミュニティパーク) 創造プロジェクト」のプレゼンテーションを始めます。発

表時間は5分、質疑応答が10分となります。

団体名および発表者の紹介をしてから事業の説明をお願いします。それでは、よろしくお願いします。

団体 — 配布資料にて説明 —

---

## 質疑応答

榎本委員長 秋元小学校が使えるまでの間はどこでやってるんですか。

団体 昨年、一昨年は、秋元小学校の隣が清和公民館でしたので、公民館を借りて公民館でやっておりました。今年は清和小学校にもうなっているので、公民館がちょっと遠いんです。なので、そこには移動手段が今のところ無いので、本当はそのまま移動が出来れば沢山の人を集められるんですけども、今年度に限っては、移動できる手段のある子を対象にした清和公民館での子ども教室を前提に考えています。

ただ清和公民館の事業として、清和小学校でそのまま放課後イベントをやるっていう許可をもらってるっていう話を聞いているので、そこは清和小学校の校長先生とかに、今回の事業を通していただければ、そういった事業をやっているところなので、小学校をそのまま使わせてくださってことで交渉しようとは思っています。

榎本委員長 公民館なかなかコロナで使っちゃいけないって出てるけど、難しいでしょ。

団体 そうですね。今回もまん延防止が出たので、そうすると午後8時までしか使えないってことは出ますが、元々放課後子ども教室ですと、遅くても6時過ぎにはおしまいって形でやってますので、そういう意味ではまん延防止まででしたら、なんとか使えるかなというところはあると思います。

佐藤委員 清和公民館は耐震の問題で、9月で使えなくなってしまうと思うんですけど、そしたらどうしますか。

団体 そこは今お願いしているのが、先ほど申し上げたように清和小を使わせてくれるよう、なおさら清和公民館は使えないので使わせてくれという形でやっていくのと、秋元小学校の跡地の活用の方でも、今回夏休みで企画してるイベント、秋元小の跡地でやるつもりなんです。一応いま準備会の方を通せば、秋元小の跡地でもできそうなので、そこも含めて考えようと思っています。

佐藤委員 もう1つ、子ども教室の具体的な内容って。

団体 去年はちょっと、リモートで子ども新聞を作っただけになってしまったんですけど、参考にその前の年では全体で5回やったのかなと思う

んですけれど、12月からクリスマスカードを作ったりですとか、全員でいくつもトランプをくっつけて大トランプ大会っていうのをやったりですとか、私がそういった仕事をしているところもあるので、租税教室をやってみたりですとか、去年「鬼滅の刃」っていうアニメが随分流行ったんですけど、まだ当時はそこまで流行ってなくて、学校の中でそれを知っている子と知らない子がいたので、そこでディベートみたいな形で司会者が立って、鬼滅の刃の良さを説明してくださいって形でやって、その知らなかった子達が見たいって思えるようなプレゼンを出来たら成功みたいな形でやってみたりしていました。

佐藤委員

子ども達が取り組むような、そういった企画ですね。

団体

そうですね。

新田委員

去年の実績はどういう数字になっているんですか。

団体

実績というのは参加者ということですか。

新田委員

子どものいわゆる受け入れ実績です。

団体

去年はコロナで出来てないので、あれなんですけど、一昨年に関しては全体で、まだその当時は三島小がちょっと離れていたんで、三島小の子は残念ながら1人とかっていう形になってしまっていたんですけど、一昨年の時点では秋元小が全体で40名位のところ10名から15名位の間で参加してくださる感じ、顔ぶれは変わりながら参加している感じでした。

新田委員

引き続き、旧秋元小を有効活用しながら、児童保育の受け入れ先とかの方向性としては、作っていくようにお聞きしてるんですけれども、設備を作ったからにはね、ある程度の数字を維持していく必要はあると思うんですけれども、その辺についてどういうふうにお考えですか。

団体

今のところ、先日取ったアンケートの中では、世帯数が30から40の中で、学童みたいな形で毎日開催するのであれば使いたいというところが10件程度あります。もしあるのであれば、そこに入れて自分も働きに出たいって方も含めると、10から15件というところなんです。後はそういうものがないと結局移住の促進にも繋がらないので、必ず作らなきゃいけないんじゃないかなと考えているところです。

ちなみに、毎日じゃなくてたまに参加したいって方を入れると、もっとさらに半数以上にはなる形です。

榎本委員長

説明していたらごめんなさい。1人参加する方のお金ってのはどのくらいになるんですか。

団体

今は、こちらの補助金をいただけるというところがもしあれば、講師とか子どもを見守る人には時給で700円とか、講師の方は1回1,0

00円っていうのを払おうと思ってるんですけど、そちらは補助からってところを考えているので、実際子どもには、学校終わったあとお腹すくので、おやつを出すんです。その分の1回100円っていうのを貰って、それ以外で例えば、まだそういうのをやったことがないんですけど、材料費が特にかかってしまうようなものを企画する場合には材料費は別途いただくというような形でやっています。今年も夏のイベントについては、日中外で水鉄砲で遊んだ後、夕飯はみんなで作るっていうのはやっぱりコロナで難しいので、おにぎりとかそういう物を購入して、その後また遊んで、夜までちょっと遊ぶみたいな形を考えているので、そうすると一旦1,000円とかを集めて、そこで清算して残ったものを返すみたいなことを今のところ考えているところです。

榎本委員長

ほかにございませんか。

(発言するものなし)

以上で、プレゼンテーションは終了となります。

お疲れ様でした。

(団体退場)

---

#### 議題4 令和3年度2次募集申請事業の採択協議（非公開）

---

閉会(午後16時40分)